

THE DAY



NEWS LETTER

2026 / 3 / 1 Noboru Morishige

YouTube 森繁昇チャンネル



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、このレターを讀んでくださる皆さん 2026年3月1日

春です！もう一度、春です！もう一度、希望のお知らせです！皆さん、元気におられるでしょうか？皆さんが元気におられるのを、心から願っています。

死んだような枝でも また芽吹く春には

夜の後に朝が来 闇は消え去る

この身は朽ち果てても また生き返る

神の言葉の証（あかし） 今 胸に見た

歌：「胸に見た」より

「やられたー!!!」

先日朝、家のすぐ裏、刈った草や、集めた枯れ葉を捨てる藪のところを見たら、「やられたー!!!」紫と白が混じった花が一斉に咲いているではないか！前の日にはなかった。お互いに申し

合わせたかのように、同時に咲いたのだ。美しいー!!! 踏まないように、そーっと近くに寄ってみると、ランの花。今まで見たこともない。スマホやー！走って家に戻り、カシャツ、カシャツ、カシャツ。美しさにドーッタマゲタ!! イエス様ありがとうございます！

夕方になって、また行って見た。どこ?? ない!? すべての花びらが地面に落ちていた。一つ残らず。言葉が出ない…。そして、あの詩を思い出していたら泣いた。

「人の日は、草のよう、野の花のように咲く。風がそこを過ぎると、それは、もはやない。その場所すら、それを、知らない。しかし、主（すべてのものの創り主）の恵みは、とこしえから、とこしえまで、主を恐れる者（主を愛する者）の上にある。」（詩篇 103：15～17）



善と悪

ご存じのように、長い間、私が書いてきたことは、私の考えや思い、また願いや教えではありません。もしそうなら、それはただ人間のことだけで、肉体と魂のことだけです。それだけでは、人は神を知ることできません。人は神の霊を通して神を知り、自分が神に造られた目的を知ります。それまで、仮に、人が、いろんな願いやプランを持っていたとしても、好きなことが何でもできて、欲しい物を全て持っていたとしても、人生は、虚しい、わびしい、寂しい、情けない、残念、絶望、不安、恐怖など…、最後にはそのような思いになるのです。最後というのは、自分が死ぬ時、自分の存在がなくなる時です。そして、人はそれが当たり前だと考えています。

人がそのように感じたり考えたりすることは、自分の罪のせいなのです。神との関係がなくなって、悪魔に騙されているからです。「自分の罪のせい？」そうです。アダムとイブが神に逆らって、悪魔の誘惑に自分から惑わされたように、あれ以来、人類は全て騙され続けているのです。これは、私の考えですが、悪魔に誘惑されて、人は、自分の意志で神に逆らって、あの木の実を食べ、それで、「悪魔の悪」と、「神の善」がわかるようになったのです。悪魔が提供するものは全て悪です。それと、悪魔に影響されたものも全て悪です。神の与えるものは全て「善」すなわち、神が良しとされた全ては“Good” 良いものなのです。

変ですよね

上に書いた心の中のことですが、本当は、誰も、それらとは反対のことが欲しいと願っている自分があるのです。いつもではないかもしれませんが、人は自分の心の願いとは反対のことを感じ味わいながら、人生を進み、最後に、自分が望んでいない、絶対嫌な、死を迎えることになるのです。そして「死んだら終わりだ！」の一言で、人生を終わることになるのです。それは人の心の中で現実だと思います。しかし、それって変ですよね。

人は、『何をしたら』永遠の命を頂いて天国に行く？ (ルカ 18: 18 ~ 43 を読んでください)

イエスのところに来た二人の人

「地位も名誉もあり、決まりを守って、きちんと生きてきた大金持ち」……神から永遠の命を頂くのは、自分で正しく生きようにはすることではないのです。何をしたらからではないのです。地位や権力、持ち物、評判、生活水準、崇高な考え、精進、自分の努力等…ではないのです。

「物乞いをしていた盲人」……「ダビデの子のイエス様！ 私をあわれんでください！」と叫んで、イエスが救い主だと告白した物乞いをしていた盲人。目は見えなくても、彼は、イエスがどんなことを行っていたか、どんなことを話していたか、イエスについてうわさで聞いていたのです。(私、ゴスペルのうわさ係？ ゴスペルがうわさになってほしい————!!) それで、イエスがダビデの家系から生まれる救い主(キリスト)だと知って、イエスに向かって叫んだのです。イエスが誰であるかわかると、人はイエスのところに来るのです。そして、イエスが誰であるかわかって、イエスを信じてることを叫んだ(告白した)時に、その人は救われ、永遠の命をもらったのです。

「人は心に信じて義(神の前に正しい)と認められ、口で告白して救われる」(ローマ 10: 10)が彼の内に起こったのです。

幼子のように

清く正しく生きようとするのが悪いというわけではありませんが、人は自分の罪を自分で解決することができない状態の中で、罪を犯さないように生きることは難しいのではなくて、不可能なのです。人は、罪を犯すから罪人ではなくて、罪人だから、罪を犯すのです。神の霊をなくした人は、神がわからないのです。しかし、「神を知りたいんです」と幼子のようにイエスに来る時、神の「霊」がその人に、自分が神の前にどのような者か示し、そして、イエスが誰なのか、イエスがどのような方なのかをその人に教えるのです。

神の霊は、私たちの助け主

「わたしが父のもとから遣わす助け主、すなわち父から出る真理の御霊が来るとき、その御霊がわたしについてあかしします。」(イエス)
(ヨハネ 15 : 26)

「その方(真理の御霊)が来ると、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせます。」(イエス) (ヨハネ 16 : 8)

「…その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。」(イエス) (ヨハネ 16 : 13)

イエスを知るために人が要るもの

それは、「真の神を求める意志」。どうでもいいことでなく、イエスを知ることには真剣な心。それと、「神を知りたい願い」。神の前に正直で素直な心、誰にも強制されない、自分の心からの願いです。

くどいですが、もう一度初めから

神に逆らうことで(罪を犯すことで)、霊が死んだ

「その後、神である主は、土地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息(神の霊:私の訳)を吹き込まれた。そこで、人は、生きものとなった。」(創世記 2 : 7) (living beings NIV 訳: 生きたもの living soul KJ 訳: 生きた魂)

「神である主は、人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べて良い。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」 (創世記 2 : 16 ~ 17)

これらのことから、人は、神から受けた息(神の霊)によって「生きたもの」になり、禁じられた実を食べる(神に逆らう)ことで「死ぬ」、すなわち、神の霊を失ったのです。

しかし、今、人は、御霊(神の霊)によって、再び新しく生まれるのです。

「イエスは答えて言われた。『まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。』ニコデモは言った。『人は、老年になっていて、どのようにして生まれることができるのですか。もう一度、母の胎にはいって生まれることができますでしょうか。』イエスは答えられた。『まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることができません。』」 (ヨハネ 3 : 3 ~ 5)

神は、人を愛しておられる

人は、自分の意志で罪を犯し、神から頂いた霊をなくして死にました。そして、神との霊的な関係を失い、神がわからなくなり、続けて神に逆らって生きるものとなったのです。

しかし、しかし、それでも、人を愛する父なる神は、神と人との関係を回復するために、人間の「罪の罰である死」を滅ぼすため、罪のないご自分のひとり子イエスを、「人として」地上に送り、そのひとり子に人類の全ての罪を負わせ、イエスに、死という罰を与えたのです。それって、私たちが考えても本当に理不尽ですね。しかし、それは、私たちの罪が赦されるための、父なる神の唯一の方法だったのです。

もう一つに、私たち人間が、「神は、人を愛しておられる」ということを知るために、イエスが、私たちと同じような「人として苦しみ、命を捨ててくださった」のです。そして、死を打ち破った証しに、イエスを、死んで三日目に生き返らせたのです。それ以来、誰でも、誰でも、真の神を知りたいと願う人に、神の霊は、神が下さる罪の赦しの真実を教えてくださいます。

悪魔に勝つ唯一の道

それは、イエスの愛と罪の赦しをもらい、再び神の霊で生きたものとなることです。あの時は、自分の意志で悪魔の誘惑と死を選んだのですが、今度は、自分の意志で、神の愛と罪の赦し、永遠の命を「ありがとう」と選んで、受け取るのです。

その時、あなたは、神があなた愛しておられること、あなたの全ての罪が赦されたことがわかります。ゴスペルの全ての約束が、心一つであなたに与えられ、天国での、永遠の命をもらったのです。そのことが、新たに頂いた神の霊によって、あなたにわかります。人は、そのようにして悪魔に勝つのです。正に！ハレルヤ!!!です。

神の子どもたちに、誰も敵対できない

「神の子ども」…

「この方（イエス）を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」（ヨハネ 1：12）

「神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜みせずに死に渡された方が、どうして、御子といっしょにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありますでしょう。」（ローマ 8：31～32）

すでに、悪魔に勝った者

「子どもたちよ（神の子どもたちよ）。あなたがたは神から出た者です。そして彼らに勝ったのです。あなたがたのうちおられる方（神イエス）が、この世のうちにいる、あの者（悪魔、悪霊）よりも力があるからです。」

（Iヨハネ 4：4）

「神は私たちに御霊を与えてくださいました。それによって、私たちが神のうちにおり、神も私たちのうちにおられることがわかります。」

（Iヨハネ 4：13）

「Born Again!」

Born Again 新しく生まれた

Born Again 神の霊で生まれた

人間の子供として 生まれた後で

神の子供として 再び生まれた

Born Again それは偉大な神のみわざ

悪魔の暗闇の世界から神の光の中に

I AM BORN AGAIN!!!

イエス様の御心なら今年もイエス様を歌って旅をする計画です。もし、私も加えていただいで、一緒にコンサートをするプランをイエス様が導いてくださるようでしたら連絡してください。よろしくお祈りします。

だいたい日程です。

4月13日～5月24日、8月1日～9月23日

11月1日～12月20日

※下記の他、すでに入っている予定

9月20日（日） 周東キリスト教会 岩国市

12月5日（土）6日（日） 新里チャペル 桐生市

Noboru Morishige

春の LIVE Information

4月にいくつかコンサートがあります。近くであるようでしたら、友達を誘って聞きに来てください。

4月4日（土）	明石市（尼崎キリスト集会主催）	090-4301-8648（河辺）
4月5日（日）	伊丹酒蔵（尼崎キリスト集会主催）	090-4301-8648
4月11日（土）	玉島福音ルーテル教会	086-522-5304
4月26日（日）	宝塚栄光教会	0797-73-6076

ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24

FAX▶ 0833-91-6492

E-mail▶ thewindblowing@hotmail.com

振替口座▶ 01330-4-93687 ザ・デイ

HP / thedaywill.com

Noboru Morishige

P.O.BOX 1666

KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A

TEL ▶ 808-966-9252

